

コーディネーターの育成

取り組み内容

●コンサルテーション(巡回教育相談・教育相談等)について

☆支援部として取り組んだこと

- ①相談内容についての協議
(アセスメント)
- ②実地研修(相談は2人・3人体制)
- ③反省会
- ④コンサルテーション研修

☆個人で取り組んだこと

- ①過去2～3年分の記録をチェック
- ②書籍
- ③民間主催の傾聴講座を受講

成果と課題

○成果

- ・情報収集力(アセスメント力)の向上
- ・傾聴力の向上
- ・知識力の向上

○課題

- ・普通校(通常学級)でも取り組める支援の提供
- ・学校全体の支援へつなげていくこと(連携のあり方)
- ・コンサルテーションの評価(事後分析)

自分が学んだと思うこと

○傾聴力の大切さ

- ・対応すべき必要な問題が、事前シートやコンサルティの話ではなく、その背後に隠されている場合が多い。
- ・どれだけたくさんの情報を聞き出せるか。情報量が多いほどサポートしやすい。
- ・同情、同調ではなく、共感という姿勢。
- ・説得しよう(教えよう)としない→相手が自分で気付くようにサポートする。

過去と他人は変えられない ⇒ 現在・未来と自分は変えられる

今後に向けて

○アセスメント力・傾聴力の向上

- ・特別支援の枠にとらわれず、民間主催の講習も受講する。
- 外に出ることで見えてくるコーディネーターに必要な力
- ネットワーキングの促進(様々な職種の方とのネットワークづくり)

○コンサルテーションの評価

- ・コンサルテーション後(一定期間後)、アセスメントは適切であったか、対応は妥当で有効であったかを分析し、支援のあり方について評価する。
- 事後シートを作成

地域支援づくりへの提案

○小・中・特別支援学校 合同研修の実施

現在、小研会(小学校の特別支援学級担任が集まる会議)、中特研会(中学校の特別支援学級担任が集まる会議)にそれぞれ参加し、情報交換等を行っている。

これらの機関を利用し、合同で研修を行う。

例えば・・・

- ・共同で教材作りをする
- ・進路について学ぶ 等